

# reFashioned

[リファッション]

アップサイクル・ヤーンで  
よみがえる服たち



# Meat

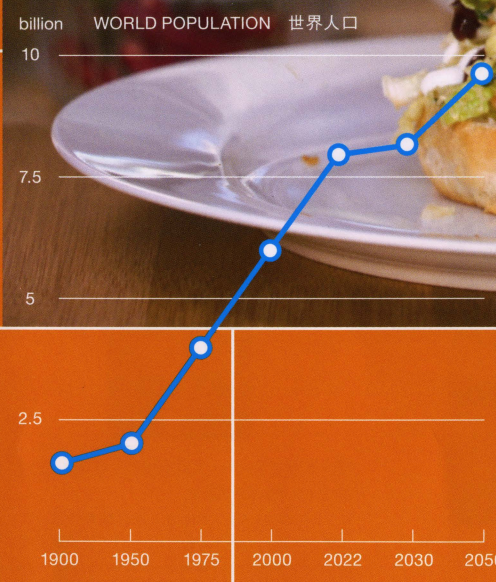
# The

[ミート・ザ・フューチャー]

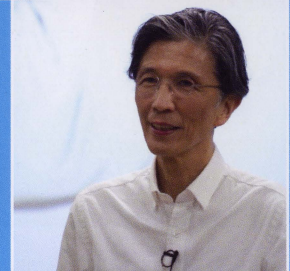
持続可能な社会に  
テクノロジーが変える

# Future

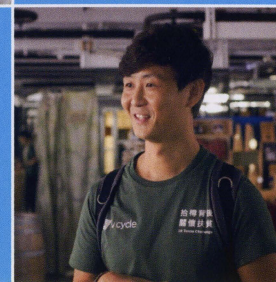
培養肉で変わる  
未来の食卓



持続可能な社会に  
テクノロジーが変える



監督: ジョアンナ・パウワーズ  
 プロデューサー: ケイト・フレミング・デイヴィス / 音楽: ホー・リン・タン  
 出演: エドウィン・ケー、サラ・ガーナー、エリック・スウィントン、ヴァネッサ・チョン、  
 ロナ・チャオ、エリック・バン  
 (2021 / 香港 / 84分 / 英語・北京語・広東語 / 原題: reFashioned)  
 ©CHEEKY MONKEY PRODUCTIONS ASIA LTD 2021 配給・宣伝: アップリンク



ミニシアター・サブスク  
<https://diceplus.online>



監督: リズ・マーシャル  
 音楽: モービー / ナレーション: ジェーン・グドール  
 出演: ウマ・ヴァレティ、ニコラス・ジェノベーゼ、エリック・シュルツ、ケーシー・カーズウェル、ダニエル・デスメット、  
 マシュー・レオン、マイケラ・ウォーカー、ムリナリニ・パルヴァタネニ、ブルース・フリードリヒ、アマンダ・リトルほか  
 (2020 / カナダ / 84分 / 英語・ヒンディー語 / 原題: MEAT THE FUTURE)  
 ©2021 LIZMARS PRODUCTIONS INC. 配給・宣伝: アップリンク

ミニシアター・サブスク  
<https://diceplus.online>



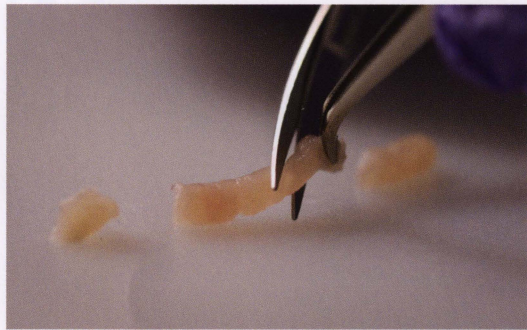
# ミート・ザ・フューチャー

英語原題の『MEAT THE FUTURE』のMeetは(会う)ではなく肉のMeatです。本作は、フード・テックの最前線をいく、クリーン・ミート、ピュア・ミートと称される培養肉のスタートアップ企業「アップサイド・フーズ(旧メンフィス・ミート)」のCEO兼共同設立者のウマ・ヴァレティ博士が培養肉の開発に挑戦する姿を2016年から2019年まで追いかけたドキュメンタリーです。

2050年までに世界の肉の消費量が2倍になると予測され、既に畜産に使われている土地は世界の陸地の半分近くを占め、畜産由来の温室効果ガスは車から排出されるものより多いというのが現実です。

そこで現在世界的に注目されているのが「培養肉」です。これは従来の畜産業が抱える屠殺という倫理的問題と環境への影響を排除し動物の細胞から肉を育てるものです。リズ・マーシャル監督は「この映画は、新しい産業の誕生を捉えている」と言います。ビル・ゲイツやリチャード・ブランソン、食品大手のカーギルやタイソン、ソフトバンク・グループなどは、「培養肉」が食品として市場に出回ることを確信しアップサイド・フーズに投資しています。

「世界中の人がベジタリアンやヴィーガンになるわけではありません。ですから、従来の肉を作る方法に対する解決策が必要なのです。培養肉は持続可能な社会を目指すテクノロジーによる一つの解決策のように思えます」 マーシャル監督



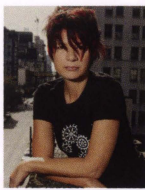
## 監督:リズ・マーシャル

音楽: モービー/ナレーション: ジェーン・グドール

出演: ウマ・ヴァレティ、ニコラス・ジェノバゼ、エリック・シュルツ、ケーシー・カーズウェル、ダニエル・デスメット、マシュー・レオン、マイケラ・ウォーカー、ムリナリニ・パルヴァタネニ、ブルース・フリードリヒ、アマンダ・リトルほか

(2020/カナダ/84分/英語・ヒンディー語/原題: MEAT THE FUTURE)

©2021 LIZMARS PRODUCTIONS INC. 配給・宣伝: アップリンク



監督 | リズ・マーシャル  
トロントに拠点を置くカナダの映画監督。動物の権利活動家、フォトジャーナリスト、作家のジョアン・マッカーサーを描いた『The Ghosts in Our Machine』(2013)が世界中で注目された。



エグゼクティブ・プロデューサー・音楽 | モービー  
1965年、アメリカ、コネチカット州生まれ。90年代にテクノ系プロデューサー&DJとしてデヴィッド・ボウイ、パブリック・エネミー、プリトニー・スピアーズなど多くの著名ミュージシャンの作品をプロデュース。



ナレーション | ジェーン・グドール  
1934年、ロンドン生まれ。動物行動学者、霊長類学者、人類学者、国連平和大使。1990年、京都賞「基礎科学部門」を受賞。「私がこのドキュメンタリーに興奮したのは、解決に焦点を当てた作品だからです。この映画は、メタンを減らし、水と土地の使用を減らし、動物の苦しみを軽減し、将来のウイルス発生を防ぐために、進むべき道を提案しています」



アップサイド・フーズ共同創業者兼CEO | ウマ・ヴァレティ博士  
インドのヴァイジャヤワダ出身。元心臓専門医。アップサイド・フーズ(旧メンフィス・ミート)の共同創業者。2016年、世界初の「培養ミートボール」、2017年には世界初の「クリーン・チキンフィレ」を発表。2022年11月、アメリカ食品医薬品局(FDA)から培養鶏肉の安全性について「問題なし」のレターを受け取ったことを発表した。「友達の誕生日を祝う場の裏庭で鶏が殺されているのを見て思いました。動物を殺す代わりに「肉の成る木」があればいいのにな」と

# リファッション

世界でも有数の人口密集都市である香港では、毎年地形図が変わるほどゴミの埋立地が増え社会問題に発展しています。消費者の衰えることのない購買意欲に加え、近隣の中国が他国から廃棄衣料などの廃棄物の輸入を禁止しているためです。

映画『リファッション』は、持続可能な社会を作ろうとする3人の香港の人びとの挑戦を記録したドキュメンタリーです。まずフォーカスを当てるのは、香港政府のイノベーション技術委員会から資金提供を受け組織する「香港繊維アパレル研究所(HKRITA)」のCEOエドウィン・ケーです。香港の繊維メーカーNOVETEXと共に廃棄衣料からテクノロジーにより水と薬品を使用せず糸にし、アップサイクルで新たな服によみがえらせることに挑戦します。2人目は、子供服の古着を販売しネットワークを作る、サラ・ガーナーの挑戦。3人目は香港では分別廃棄されていないペットボトルのリサイクルに挑戦するエリック・スウィントンです。

このドキュメンタリー映画は社会を『reFashioned(改めよう)』というヒントを与えてくれる映画です。



## 監督: ジョアンナ・パウワーズ

プロデューサー: ケイト・フレミング・デイヴィス/音楽: ホー・リン・タン

出演: エドウィン・ケー、サラ・ガーナー、エリック・スウィントン、ヴァネッサ・ジョン、ロナ・チャオ、エリック・バン

(2021/香港/84分/英語・北京語・広東語/原題: reFashioned)

©CHEEKY MONKEY PRODUCTIONS ASIA LTD 2021 配給・宣伝: アップリンク



監督・プロデューサー | ジョアンナ・パウワーズ  
香港を拠点に活躍する監督、脚本家、プロデューサー。英国出身。「私たちの世代は昔、ファストファッションがいかに問題であるかを認識していなかったため、ファストファッションを消費する世代の人々と同じ罪を背負っています。私たちは今、サステナビリティをより意識するようになり、ファッションブランドも同じように意識するようになりました。まず、何が問題で、どのような解決策があるのかを知ってみたいのです。私たちの映画を観た後、もしあなたが服の買い方や扱い方を見直すとしたら、それはとても大きなことです」



HKRITA | エドウィン・ケー  
エドウィン・ケーは、2006年に設立された香港繊維アパレル研究所(HKRITA)のCEO。2018年にH&M基金やNOVETEXと共同でG2G(Garment-To-Garment)「衣類から衣類へのリサイクル・システム」を発表。水や薬品を使わずに廃棄衣料から新しい衣料を生み出すことに成功した。



RETYKLE | サラ・ガーナー  
サラ・ガーナーは、ネット販売が中心で子供用の古着やおもちゃなどを、従来の数分の1の価格(最大90%オフ)で販売している「RETYKLE」(リサイクル <https://retykle.com>)の創業者。



Vcycle | エリック・スウィントン  
ペットボトルやプラごみの回収箱の設置と回収を行う組織「Vcycle」(Vサイクル <https://www.vcycle.com.hk>)の代表。低賃金での労働が問題視されていた。ゴミ回収の高齢者に段ボール回収の仕事を作り出し適切な給与を支払い雇用する取り組みも行っている。